

[編集後記]

改正健康増進法で喫茶店にこもって執筆する、というこれまでのスタイルが持続可能でなくなってしまいました。身を削って書いている、という一種の自己陶酔なのかもしれませんが、シガーバーでもいかな。

コンテンツ・リーダー 沢橋 松王

数年前にオープンソースに興味を持ち、活用したアーキテクチャーを考えたくて、勉強会ワーキンググループを立ち上げてからだいぶ年月が経ちました。明らかにあの頃とは違い、当たり前前にオープンソースが溢れる世の中になりましたね。キャッチアップし続けていかなきゃ!

青山 真巳

“Open by Design”という言葉があります。最初からオープンにすることで共感した人たちがコミュニティーを形成し、Meetupイベントやブログを通じてKnow Howを共有する良い時代になってきたなど実感しております。この流れは止められないでしょう。

天野 武彦

クラウドなどを通じて機械学習が容易に利用できる2020年、オープンソースだけではなくオープンデータの広がりにも期待しています。さまざまな課題解決に向けて、日本でも多くのオープンデータが公開、利用できるようになってほしいですね。

大西 彰

オープンソース活動への貢献と聞くと開発者だけの話に聞こえますが、実際は誰もが簡単に参加できます。まずはネットで近所の活動を探してみたいかがでしょうか? 高野さんのインタビューをきっかけに一人でも多くの人が活動へ興味を持っていただけると幸いです。

善家 直己

ここ最近、オープンソース系のプロジェクトも多くなってきており、改めてこれからのITの大きな要素となってきているのを実感しています。

武間 光生

特定の製品を使って何かをするのではなく、解決したい課題に対して最適なOSSを選定し、組み合わせることがビジネス成功の鍵となっています。DXが叫ばれる昨今、ビジネスにおけるそういったITリテラシーの重要性が日々増してきている厳しい時代だなぁと感じます。

土井 聡

その昔、フリーウェアと呼ばれていた草の根開発のソフトウェアは、企業をも巻き込みオープンソースソフトウェアへと昇華しました。伽藍とバザールを例に挙げるまでもなく、ソフトウェアは組織内で秘密裏に開発されるものから、大勢の知を集めて開発されるものへと進化しました。IBMでも数多くのソフトウェアをGitHubで公開しており(<https://github.com/IBM>)、昔からこの会社に勤める身としては隔世の感があります。

花井 志生

テクノロジーの節目には必ずオープンなテクノロジーが鍵になります。Webの時はJavaやStruts、SOAの時はSOAPやBPMN、APIはRESTやSwaggerなどです。今号を作って、クラウドの時代はコンテナとKubernetesであると確信しました。

二上 哲也

ProVISION 96号編集委員

コンテンツ・リーダー： 沢橋 松王

編集委員： 青山 真巳 天野 武彦 大西 彰
善家 直己 武間 光生 土井 聡
花井 志生 二上 哲也

編集協力： 大須賀 真人 木南 秀章 佐藤 隆子
シェーカル アグニト 藤 誠
早川 勝 丸山 杏那

ProVISION 委員会

今村 健司 志水 竜夫 高橋 志津
新島 智之 二上 哲也 吉田 弘倫

掲載記事中の各社商標一覧

IBM、IBMロゴ、ibm.com、IBM AIX、IBM Cloud、IBM i、IBM Watson、IBM Z、Power Systems、およびWebSphereは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては

<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml>をご覧ください。

Apacheは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。

JavaはOracleやその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Excel、Word、PowerPointはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Red Hatは、Red Hat Inc.の登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

ProVISION 2020 No.96

<https://www.ibm.com/blogs/pro-vision/>

発行 日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

発行人 久世 和資 (最高技術責任者)

編集長 木村 絵里子

制作 株式会社 ランド

発行日 2020年5月19日

- ・弊社の許諾なしに本誌掲載記事の転載・複写・翻訳・データベースなどへの入力を禁じます。
- ・本誌掲載記事に関する詳細につきましては、弊社営業担当員にお問い合わせください。
- ・なお、社外からの寄稿や発言内容は、必ずしも弊社の見解を表明しているわけではありません。

© 日本アイ・ビー・エム株式会社 2020

Publisher : Kazushi Kuse
Chief Technology Officer, IBM Japan, Ltd.

Chief Editor : Eriko Kimura

Design & Production : LAND Co., Ltd.

Published by : IBM Japan, Ltd.
19-21, Nihonbashi Hakozaki-cho, Chuo-ku, Tokyo
103-8510, Japan

Please contact IBM Japan Sales representatives for further information on articles. Outside contributors' articles and opinions may not necessarily reflect the opinions or policy of IBM Japan.

© IBM Japan, Ltd. 2020 Printed in Japan

